

平成 29 年度 公益財団法人焼津市振興公社事業報告書

1. 総括事項

公益財団法人焼津市振興公社は、定款第 3 条の目的を達成するため、平成 29 年度において概ね次のような事業を行いました。

(1) 地域文化の振興（公益目的事業）

焼津文化会館及び大井川文化会館ミュージコでは、国内外の優れた芸術文化の鑑賞機会を広く市民に提供するとともに、市民の芸術文化活動を支援するため自主文化事業を鑑賞型、市民参加型、普及・協働型と位置づけ、バランスよく積極的に実施しました。事業の実施については、市民の要求と経済性を考慮した上で良質な事業を企画し、他の団体・機関との共催事業を含め 79 本（焼津 49 本・大井川 30 本）の自主文化事業を行い、多くの市民の鑑賞・協力・参加を得て、好評を博しました。

来場者の満足度及び観客増加を図るため、コンサート等で来場者アンケートを実施しております。お客様のニーズに応えることを第一に、年齢層によってどのような媒体で情報を得ているのかなど調査し、公演内容に合ったテレビ、ラジオ、新聞広告等のメディアの有効利用や、チケット発売前に志太榛原地域の公共施設をはじめ観光施設・スーパー・美容院などへチラシ・ポスターの掲示を依頼する PR も積極的に行いました。

お客様の利便性やサービス向上を目的に平成 23 年度導入したチケットシステムは、インターネット申込みやコンビニでのチケット受け取りも可能であります。チケットシステム導入年度はインターネット会員登録数約 400 名（内メールマガジン希望者数約 300 名）に対し、現在は会員数約 8,600 名（内メールマガジン希望者数約 3,400 名）となりました。また、インターネットでチケットを購入する方の割合も導入年度は 5 % 程度でしたが、現在は 25% 近くまで伸びお客様の利便性・サービス向上に繋がる結果に結びつきました。

より多くの方が芸術文化に触れることができるよう、市内高校生・大学生をクラシックコンサートに無料で招待する学生支援事業や託児サービス、あるいは普段鑑賞機会の少ない育児中の方を対象にしたミニコンサートなども行い、年齢性別問わず誰もが芸術文化に触れることができるよう取り組みました。

ディスカバリーパーク焼津天文科学館では、開館 20 周年を迎え記念セレモニーを実施するとともに、プラネタリウム記念番組「宇宙からのメッセージ～焼津発、未知なる宇宙へ～」の制作や日本宇宙少年団焼津分団の結成、星のソムリエ®星空案内人®資格認定講座「大人のための天文教室+（プラス）」、2015 年ノーベル物理学賞受賞者の梶田隆章氏による講演会などを実施しました。

プラネタリウムでは、アニメの人気キャラクターの「ドラえもん」や「名探偵コナン」が登場する科学番組の投影や、コンサートを中心に活躍するユニット、アリアの「はじめてのプラネタリウムコンサート」、昨年度に引き続き、焼津市出身の二胡演奏者 鈴木裕子さんとのコラボレーション企画「春宙（はるそら）星空に響く二胡の調べ Vol.3」を開催するなど、幅広い切り口から天文に触れる機会を提供しました。

(2) 公の施設等の管理運営の受託（公益目的事業、収益事業）

焼津市の文化芸術の拠点施設である文化センターの施設管理と焼津、大井川両文化会館の運営、天文科学館の管理運営、ディスカバリーパーク焼津内の公園・広場の維持管理を受託しました。

両文化会館及び天文科学館の施設運営につきましては、市民の様々な要求と期待に添うことができるよう、複合施設としての機能を生かすとともに、弾力的、効果的な運営に努めました。その結果として、年間利用者が、焼津文化会館では 229,959 人、大井川文化会館では、98,044 人、天文科学館では、年間有料入場者数が昨年度を 182 人上回る 125,156 人となりました。

ディスカバリーパーク焼津天文科学館は、地域の科学教育の拠点として、法月惣次郎氏製作の 80 cm 天体望遠鏡を活用した天文台見学会や星空観望会に 12,702 人の年間利用者がありました。また、プラネタリウムでは、市内全ての小中学校及び県内中部地区を中心に合わせて 100 を超える小中学校等の学習投影を行った他、幼稚園・保育園・子供会・児童クラブを中心に、110 を超える団体の一般団体投影を行いました。一般投影も合わせ、プラネタリウムには、52,423 人の入場者がありました。さらに、展示・体験室では、職員の自主制作により、見て、触れて、体験しながら科学を学べる参加体験型の特別展を開催し、61,079 人の入場者がありました。

一方、ディスカバリーパーク焼津の公園においては、樹木の定期的な手入れや、公園清掃を実施しました。また、老朽化した屋外遊具等の修繕を行いました。

(3) 物品販売事業（収益事業）

公社の安定財源確保のため、管理施設内の自動販売機 19 台による飲料等の販売及びディスカバリーパーク焼津天文科学館の売店にて天文グッズ等の販売を実施しました。

飲料等の自動販売機は、屋内外に設置し来館者の利便性向上を図りました。

天文科学館の売店については、星座早見や組み立て望遠鏡、実験キットなど天文・科学への興味を喚起する商品や学習に役立つ書籍等を取り扱うことで事業との相乗効果を図りました。

<附属明細書の作成について>

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附則明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。